

志賀原子力発電所1号機 原子炉建屋地下2階における水の漏えいについて

平成20年5月30日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所1号機（第11回定期検査中）において、試験のためD/WペDESTAL外LCWサンプポンプ¹（B）の運転をしていたところ、本日（5月30日）13時26分、原子炉建屋地下2階にあるサブプレッションチェンバ室²（管理区域内）の排水受けより水がこぼれているのを発見しました。これは、試験のために閉とした弁がごくわずかに開いていたためです。

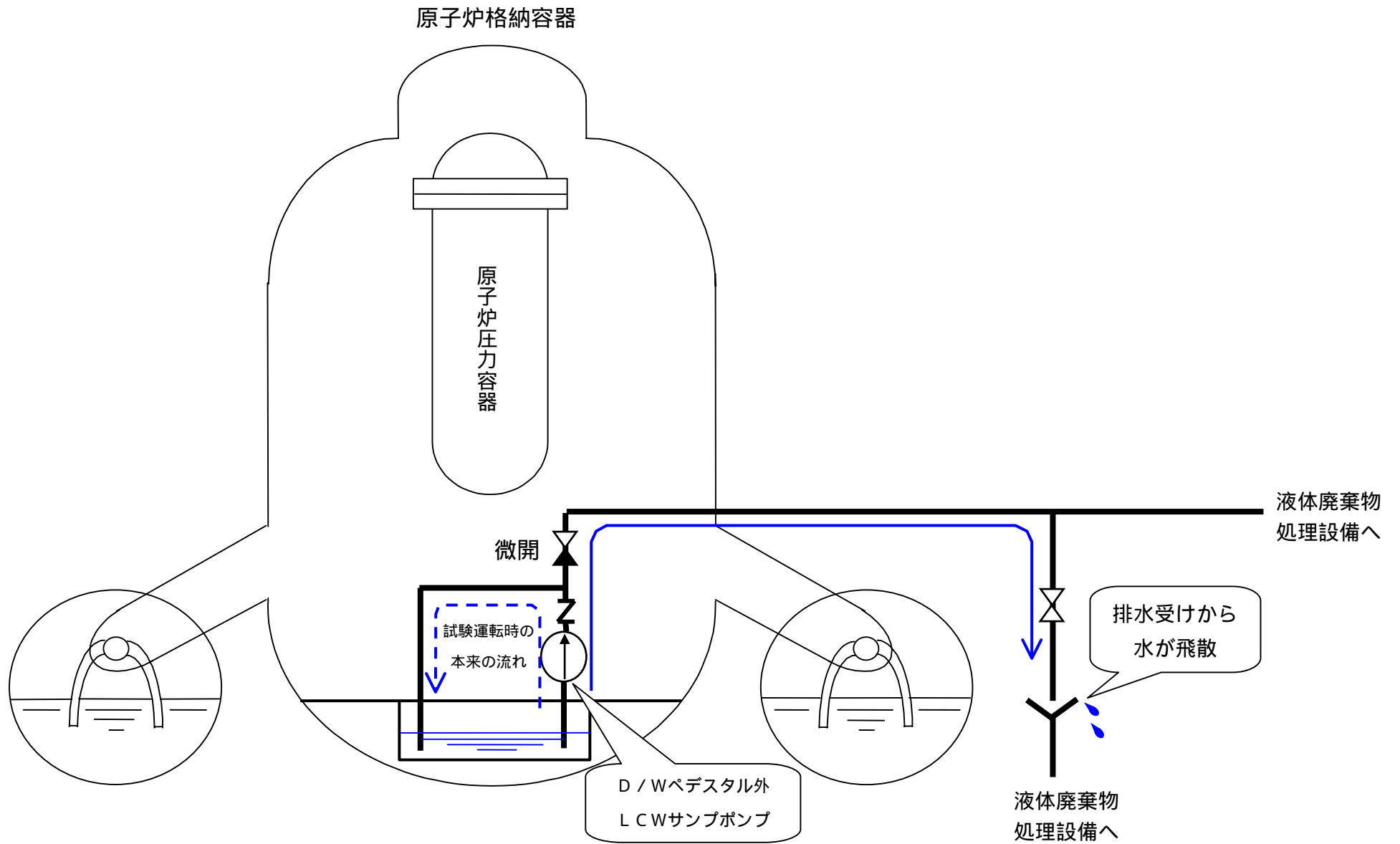
こぼれた水の量は約17.6リットル、放射エネルギーは約15万ベクレルです。こぼれた水は、ふき取り回収しました。作業員の被ばくおよび外部への放射能の影響はありません。

今後は、弁の状態を確実に確認するなど作業管理を徹底してまいります。

本事象は、石川県、志賀町と締結している連絡基準に従い、当該自治体へ連絡しています。

以上

- 1 D/WペDESTAL外LCWサンプポンプ：
原子炉格納容器（D/W：ドライウエル）内で発生する低電導度の放射性廃液（LCW）を液体廃棄物処理設備へ移送するためのポンプ
- 2 サプレッションチェンバ室：
非常用炉心冷却系の水源として用いる水を擁する大きなドーナツ状のトンネル（サブプレッションチェンバ）が収納された部屋



サブプレッションチェンバ室での水漏れ 概要図